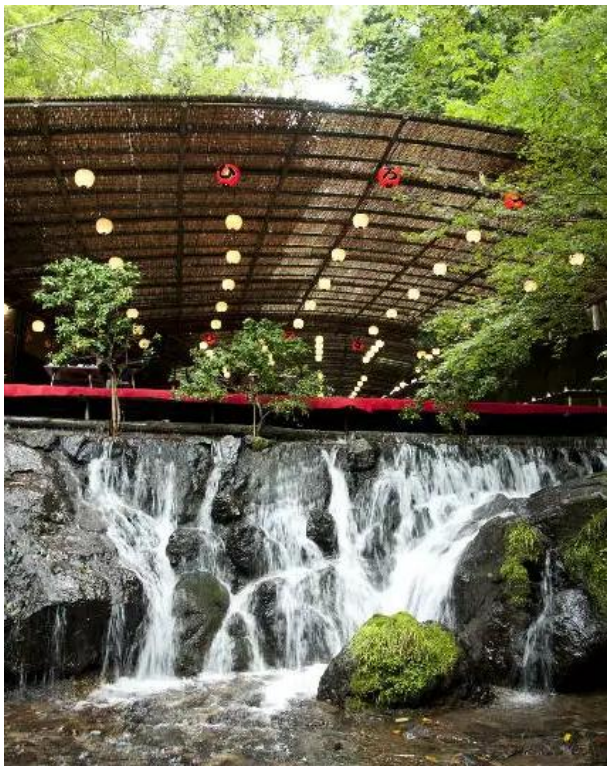
五行歌の会	きんきサロン通信８月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.027　2024.08.14

残暑お見舞い申し上げます！



ここ一カ月ほどは、会う人ごとに、口を開けば「暑いですねえ」の繰り返し。他の挨拶言葉が浮かばないので、皆さん苦笑いしながらも互いにオウム返しの日々でありました。「危険な暑さ」という気象用語は私達の夏にすっかり定着してしまいましたが、何年前からこの警戒予報が使われるようになったのでしょうか？温暖化によって人類はおそらく危機に面しているのでしょうが、そしてその危機は加速度的に進んでいるのでしょうが、力を合わせてその問題に取り組まねばならないはずの人々（賢いはずの政治指導者達や学者や財界人達）は、目先の戦争すら止めることが出来ません。暗澹たる気持ちにならざるを得ません。

暦の上では立秋、早く秋の気配が漂ってくるのを願うばかりです。少しでも涼しさを味わっていただこうと、編集長は京の奥座敷貴船川の川床と料理の画像を配して下さいました。

８月例会は暑さのせいか参加者が多くありませんでしたが、北風徹さんが初参加下さり、青猫子さんも久し振りのご参加で、少ないながらも新鮮な雰囲気の歌会となりました。

今回の１席はいぶやんで、戦後八十年、このまま日本が戦争に巻き込まれずに余生を全うできるのかと自分に問いかけた歌。２席は２名で、前回の七夕歌会の折の琵琶湖のボートを描かれた黒田節子さんと、戦時中のお父上のレコードの秘話を公開された玉虫さん。３席は、夏の海辺の時間推移を簡潔に描かれた西村康則さんでした。９月は歌会前に昼食会を企画いたしております（詳細は後述）。10 月は全国歌会のため休会といたしますので、奮って９月歌会にご参加いただければ幸いです。（いぶ記）

【309 回きんきサロン歌会結果】

1
灰色の時代に
軍歌の詞を残し
レコードに刻まれた事
自ら触れずに
亡父は雲のかなたへ
玉虫 5 点 三席

2
行きはニコニコ
帰りはむすっ
次回は絶対友人と
知らぬ間に
奥様横に鎮座ましま
北風　徹 3 点

3
一人乗り
三、四人乗りボートが
瀬田川を
緩やかに滑る
夏日
黒田節子 7 点 同二席

4
浜辺の足跡
今日一日も
波に呑まれて
朝が来る
黄昏
西村康則 7 点 同二席

5
雨が降るから虹が出る
それを閉じ込めた
虹色のかき氷
きっと良いことある！
No Rain, No Rainbow
青猫子 5 点

6
戦後八十年
私はこのまま
戦争を知らない子供の
まま
死ねるのだろうか
いぶやん 8 点 一席

7
覚えていますか
初めて出会った時
初めて話しかけられた時
初めてひとつに
なれた時
小林栄子 4 点

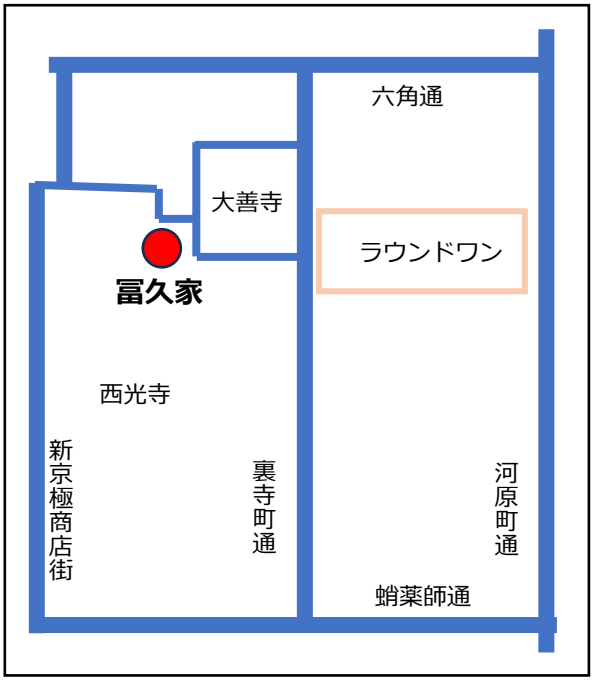
■（参加者：６名）
青猫子・いぶやん・北風徹・黒田節子・
玉虫・西村康則
（歌のみ）小林栄子

■9 月ランチ会ご案内

① 日時：**2024.9.1（日）11:30～12:45**
② 場所：**冨久家　TEL:075-231-5967**
京都市中京区桜之町 449
③ 料金：1,800 円（飲み物別）
④ 申込：伊吹代表まで。スペースの関係で先着 9 名までとさせていただきます。

京都ふくや五行歌会代表の夕月さんのお店で歌会前のランチです。ウイークデイはランチ営業で知る人ぞ知る隠れた評判店です。日曜日はお休みですが、特別に「きんきサロン」のために、貸し切りで、お店開けていただきます。

場所は、下の地図参照ください。東西方向では、裏寺町筋と新京極商店街の間。南北では、六角通と蛸薬師通の間。分かり易いのは、河原町通からラウンドワンの店内を抜けて裏寺町通へ、土塀伝いに真直ぐ、突き当り冨久家の提灯が目印です。11 時 30 分からとなっていますが、若干早めでも入れていただけると思います。自信の無い方、お早めに！

歌提出より先にランチ予約、方向音痴で自信のない方、どなたかとお誘いあわせがいいかと思います。お待ち申し上げております。

（はじめ記）